

製品技術資料

プロダクトインフォメーション

F228Dデジタル骨導補聴器は骨導式のメガネ形デジタル補聴器です。軽度から高度の聴力レベルに対応します。

ソフトウェアおよびトリマーで一人ひとりに合わせたプログラムができ、ニーズに合わせた柔軟性のある調整が可能です。

アクセサリ

スターキーは多様で新しく魅力的なメガネフロントを提供しています。今回新しくデザインされたエクステンションチップはフロントと補聴器をデザイン的に融合しました。また、以前のベナトーンチップも使用できます。

特徴

- 電池サイズ：PR44（675）
- 2チャンネルデジタル信号処理（4ピンのプログラム用ソケット付き）
- ローカットトリマー（N-H）
- O-T-Mスイッチ
- 以前のベナトーンAN-90にも取り付け可能
- カラー：ブラック

ハイプロおよびトリマーによる調整機能

- ローカット
- ハイカット
- オーバーオールゲイン
- 10バンドイコライザー
- 最大出力制限（MPO）機能（出力制御型圧縮；AGC₀）
- ボリューム有効/無効選択機能
- ローカットトリマー有効/無効選択機能
- チャンネルごとの圧縮比調整機能
- ノッチフィルター
- 境界周波数調整機能

全高調波ひずみ（入力レベル=70 dB SPL、規準利得）：	
500Hz	<1%
800Hz	<0.5%
1000Hz	<0.5%
1600Hz	<0.2%

誘導コイル感度： 90±6 dB OFL（10 mA/m, 1kHz）

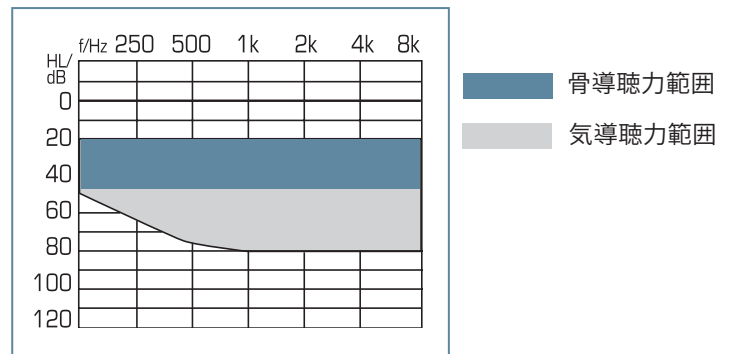
等価入力雑音レベル： 26 dB(A) SPL以下

電流値： 1.32 mA以下（1.4V）

電池寿命： ~329時間（電池容量 620 mAh）

適応聴力範囲:

感音難聴には適しませんので
気導閾値・骨導閾値に注意してください。



製品技術資料

DIN (ドイツ工業規格)、IEC 118-9:1987 によるテクニカルデータ

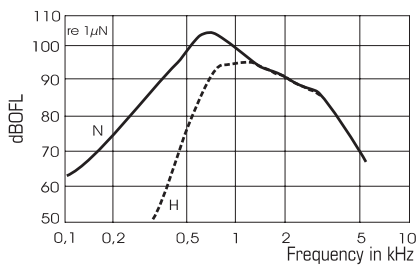
$U_B = 1.35V$, 許容値 +/- 4 dB

HAIC (補聴器工業協議会) : DIN (ドイツ工業規格) 45 605: 1989 による測定値

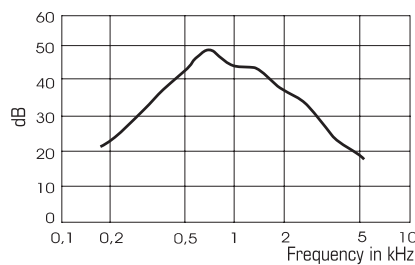
	最大音響機械感度レベル (FAMSL) (MPO 最小)	90 dB 最大出力フォースレベル (OFL90)	
		MPO 最小	MPO 最大
HAIC	41 dB	111 dBOFL	90 dBOFL
1000 Hz	45 dB	112 dBOFL	90 dBOFL
ピーク	48 dB	121 dBOFL以下	97 dBOFL

周波数範囲 HAIC: 200 - 4000 Hz

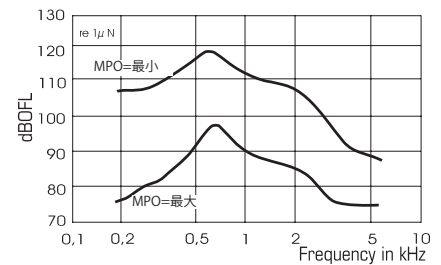
MPO (最大出力制限) : ソフトウェアにより調整可能



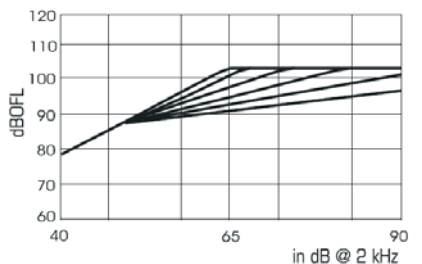
標準出力フォースレベル
入力レベル=60 dB SPL
N/H (ローカット最小/最大)



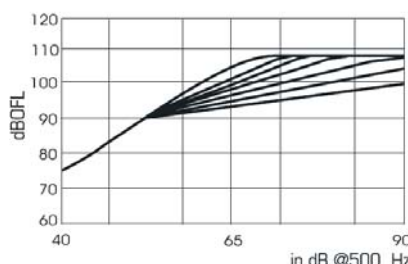
最大音響機械感度レベル (MPO最小)
入力レベル=50 dB SPL、VC 最大



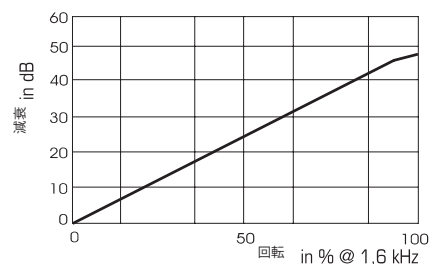
90 dB 最大出力フォースレベル (OFL90)
入力レベル=90 dB SPL、VC 最大



高チャンネル (HC) の圧縮比の変化
による出力変化



低チャンネル (LC) の圧縮比の変化
による出力変化



ボリュームコントロール (VC) の変化
による利得変化
入力レベル=50 dB SPL、1600 Hz



4ピンのプログラム用ソケット